



2022年1月31日

バスにおけるウイルス対策を拡大：

バス向けの抗ウイルス施工を開始し、ウィンドバイザーを「ローザ」にも展開

三菱ふそうバス製造株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長・藤岡佳一郎、以下 MFBM）は、バスにおけるウイルス対策として、バス室内の抗ウイルス剤塗布および抗菌コーティング施工を行うことを発表しました。

ふそうブランドのバスを販売する、三菱ふそうトラック・バス株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO カール・デッペン、以下 MFTBC）は、「抗ウイルス剤塗布・抗菌コーティング施工」および、大型路線バスでの新型コロナウイルス対策として販売中の「ウィンドバイザー」を、小型マイクロバス「ローザ」向けにも販売を開始しました。

「抗ウイルス剤塗布・抗菌コーティング施工」ならびに「ウィンドバイザー」は、全国の三菱ふそう販売会社及び三菱ふそう地域販売部門にて販売中です。

「抗ウイルス剤塗布・抗菌コーティング施工」

今回新たにバス向けに特別仕様での展開を開始した「抗ウイルス・抗菌コーティング：無光触媒 SKYBE-783」は、株式会社コスモ技研（本社：東京都台東区、代表取締役社長：吉川昌孝）が販売し、ウイルス感染予防対策として、不特定多数の乗客が触れるバス車内のブザーやつり革、手すりなどに塗布するものです。同製品は、バス室内に散布することで、室内の付着ウイルスを15分で99%減少させる効果があります*。一度の噴霧で年単位の効果が持続し、有害物質などの臭いも分解する消臭効果もあります*。抗ウイルス剤塗布は、数多くの乗客が日々乗降する大型路線バスをはじめ、大型観光バスや小型マイクロバスにおいて、お客様に安全かつ安心な移動手段を提供する上で有効です。同製品はふそうブランドのバスを製造する MFBM の有資格者が施工し、ふそう製バスの新型車や既にお客様がお使いの車両にも対応します。

*出典：参照データはコスモ技研による発表資料

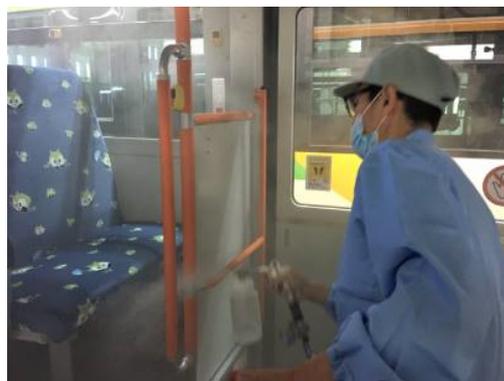
「ウィンドバイザー」

大型路線バスにおける新しい生活様式として2020年に販売を開始した「ウィンドバイザー」を、小型マイクロバス「ローザ」向けにも特別仕様での販売を開始しました。「ウィンドバイザー」は雨天時の窓開放中に雨水の侵入を防止して車内換気を可能するもので、後付けとして側窓部に装着が可能です。窓の前側及び後ろ側に装着することで、雨天時でも雨水の室内侵入を防止して10cm窓を開放できます。これにより、車内外に風を通すことで車内のさらなる換気が可能になります。「ローザ」向けのウィンドバイザーは、ローザ特有の窓の形に合わせた形状となり、両面テープで容易に取り付けが可能です。

MFBM は、バスの乗客に向けて安心かつ安全な移動をご提供すべく、今後もバスにおけるウイルス対策を状況に応じた対応を進めてまいります。

■ 「抗ウイルス・抗菌コーティング：無光触媒 SKYBE-783」

※施工価格は車種や架装によって異なるため、詳細は最寄りの三菱ふそう販売会社の営業担当者までお問い合わせください。



バス室内での散布の様子

■ 「ローザ」用ウィンドバイザー

※価格は車種によって異なるため、詳細は最寄りの三菱ふそう販売会社の営業担当者までお問い合わせください。





◆会社概要◆

商号	三菱ふそうバス製造株式会社	
代表者	代表取締役	藤岡 佳一郎
所在地	〒939-2757	富山県富山市婦中町道場1番地
設立	1950年4月	
事業内容	バスのボデー製造	
資本金	66億3千万円	
URL	www.mfbm-bus.com	

